

2013年5月23日
 発行/日本共産党市議団地域版
 自宅/市川市菅野2-14-14-206
 Tel/fax 047-323-3640
 携帯 090-6310-3294
 E-mail
 shimizu@jcp-ichikawa.com
 ブログ「清水みな子」で検索

日本共産党市議会議員

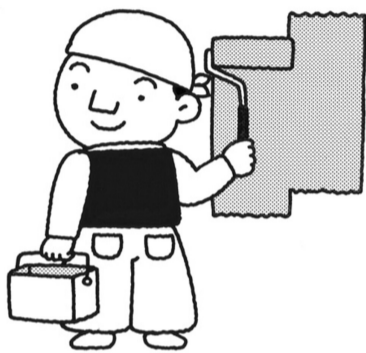
清水みな子

あおぞらメール No.64



あんしん住宅助成制度

市川市ではじまる新しい制度です



改修工事費3分の1、10万円限度に補助

市川市は、住宅を良質に保つための改修工事をおこなう場合、その費用の一部を助成する制度が今年4月から始まり、市との懇談で、補助対象は、自己所有の住宅（集合住宅は専用部）で、対象工事費の3分の1、10万円を限度に助成します。

*条件は市内施工業者（法人・個人）を利用し、市税の滞納がないことなどです。

受付は年2回 多数は抽選に

受付時期は、期間を設定し、年2回募集、1回150件。応募が多数の場合は抽選となります。1回目は7月下旬、2回目は10月下旬を予定しています。申請は原則本人ですが、施工業者の代理も可能です。本制度は1回限りで、他の助成制度と併用できません。

詳しくは市のホームページ、6月の広報に制度案内が掲載される予定です。ぜひ、ご覧ください。

住民の運動が 市政を動かす

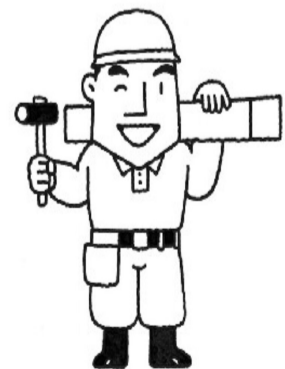
党市議団は、昨年6月市議会に「住宅リフォーム助成」条例案を提出。業者団体も請願を提出し、議会採択まであと一歩と迫りました。その後、市長との懇談で「目的を限定して検討している」とことが明らかになり、今回の制度に、住民要望が反映され、市政を動かす成果となりました。

《住まいに関する市川市のその他の制度》

- 高齢者および障害者住宅改修費の補助
 - 家具転倒防止器具等の補助
 - 住宅用太陽光発電システム設置助成制度
 - 木造住宅防災リフォームへの助成
 - 戸建住宅・分譲マンションへ震災支援金
 - 耐震診断・改修助成制度
 - 危険コンクリートブロック塀等対策事業助成金
 - 生け垣の助成金
 - 屋上等緑化の助成金 などなど
- (助成対象・条件など詳しい内容は問合せください)

《3つの分野の対象工事から1つを選択》

- ☆バリアフリー
 - ・トイレの面積拡張、洋式への便器変更
 - ・お風呂の低槽、バリアフリー
 - ・手すりの設置 ・段差の解消
 - ・廊下・出入り口の拡張
 - ・引き戸の変更
 (*介護保険の住宅改修を除く)
- ☆防災性の向上
 - ・屋根の軽量化
 - ・基礎の補強 ・壁の補強
- ☆省エネ
 - ・床・窓・壁等の断熱改修
 - ・節水型トイレの設置
 - ・高断熱浴槽の設置
 - ・高効率給湯器の設置など



☆市議団ホームページリニューアルします
 ☆ブログをご覧ください
「市川市議 清水みな子」で「検索」
 ☆ご意見・ご要望をお寄せください

特養待機者ゼロの会 千葉県の担当者と懇談

4月22日、千葉県高齢者福祉課と懇談し、千葉県社保協（社会保障推進協



議会）とともに要望書を提出。市川の特養待機者ゼロの会メンバー5人も参加し、松戸市、千葉市、船橋市、九十九里町からも参加しました。

要請内容は、知事選挙前の骨格予算で、特養ホーム1床あたりの建設補助金が300万円（これまで400万円）と下げられたのを400万円への引き上げ、さらに特養ホーム待機者解消のために、

特養ホーム増設に力を入れてほしいという要望です。それぞれ市の実情などを報告しました。

県の担当課長は「補助金は引き上げたい」と答え、県の施設建設の目標は市町村の目標の積み上げで、指導はまったくしていないことも明らかになりました。これでは、自治体まかせで、全国一少ない特養ホームのベッド数が解消されないことも実感しました。それぞれの市町村に増設の要望をしていく取り組みを強めていこうと話し合いました。

「特養ホーム増設を」 市長へ署名提出 1万筆を超える

特養待機者ゼロの会は「曾谷6丁目外環代替地に特養ホーム・保育園の建設を」「身近な場所に特養ホームの建設を」という新しい署名に取り組み、5月16日、市長あてに1006筆（累計1万91筆）を届け、懇談しました。対応したのは福祉部長でした。

署名提出と合わせて要望書も提出。①曾谷6丁目外環代替地に特養ホーム・保育園の建設を ②身近な場所に早急に特養ホームを ③次期計画は1年目から増設する計画の作成を ④介護保険会計に一般会計からの繰り入れを ⑤市の補助金を減額しないこと。

約1千人いる待機者の解消のために、これから増えるであろう特養ホームを望んでいる高齢者のために、どうしていくのか、市も対策をきちんととってほしい。「ゼロをめざす会」はこれからも署名を集めて増設の要望をしていきます。

市川浦安労連の学習会 「いじめ・体罰を考える」



5月15日市川教育会館で、「金八先生のモデル」三上満さんを講師に「いじめ・体罰を考える」学習会がひらかれました。はじめに、職場・学校現場から、JAL解雇撤回裁判、郵政産業ユニオン、市川市内中学校の保護者、浦安市内の小学校教師から報告があり、時間が足りないほどでした。

三上さんは講演のなかで、先生の多忙化のなかでしっかりと子どもの目を観て話すことができなくなり、いじめのサインも見逃している。子どもの好きなもの「めあて」「達成感」「励まし」。嫌いなもの「皮肉」「いやみ」「あさがし」—大人にもあてはまると思いました。

《主な活動報告 4～5月》

☆4月26日 県政市政報告会

参議院選挙勝利 県政市政報告会を開きました。はじめに5月12日南関東ブロックで貸し切り公演をおこなう前進座の魅力をつつと妻倉さんが語りました。県議会議の報告の後、質問を受け時間が足りないほどでした。寺尾さとし予定候補もかけつけました。

☆4月28日 桜井昌司さんのトークとライブ

国民救援会市川支部が主催して、布川事件国賠裁判をたたかう桜井ジョージさんのトークとライブを開催。獄中で作詞作曲した「母ちゃん」「父ちゃん」涙なくしては聞けませんでした。



☆5月1日 千葉県中央メーデー

労働者の祭典—千葉市中央公園には県下から1500人が参加し、集会のあと、市内をデモ行進しました。

☆5月3日 憲法記念日は駅宣伝と集会

市川市では4駅で宣伝行動を行い、千葉市で開かれた憲法会議が主催する「集い」に参加しました。県内から450人が駆けつけました。記念講演は、沖縄大学客員教授の小林武さん。「憲法を草の根で守るとき—沖縄で考える」。草の根の力で議会の力関係も変えていこうと静かな口調で話され、力が湧いてきました。

☆5月12日 第20回森の音楽会

北国分・小塚山あづまやで「森の音楽会」が開かれました。今年で20回目目。外環道路建設で環境が壊される、緑を守りたいとはじめたこの「音楽会」。地元の方たちも大勢参加し毎回楽しみにしています。